



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	36-0168-9	版	3.00
発行日	2021/09/28	前発行日	2021/09/02

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

化学品の名称

3M™ 小傷消しセット 39149

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

本製品は個々に包装された複数の構成部品からなるキット製品である。SDSには個々の構成部品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。 この製品を構成する製品のSDS番号は：

31-3165-3

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

セクション 1.4：容器等級グループの標準フレーズ 情報の削除。
セクション 1.4：IATA分類の標準フレーズ 情報の削除。
セクション 1.4：IMO分類の見出し標準フレーズ 情報の削除。
セクション 1.4：国連番号の標準フレーズ 情報の削除。

免責事項：この安全データシートの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	31-3165-3	版	3.00
発行日	2023/11/16	前発行日	2021/10/10

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM スクラッチ リムーバー 39044, 39044S, 39070

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

自動車

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分 3

水生環境有害性 短期（急性）： 区分 3

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分 3

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

炎

ピクトグラム

**危険有害性情報**

H226

引火性液体及び蒸気

H412

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き**一般：**

P102

子供の手の届かないところに置くこと。

P101

医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P210A

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P240B

容器を接地しアースをとること。

P242A

火花を発生させない工具を使用すること。

P243A

静電気放電に対する措置を講ずること。

P233

容器を密閉しておくこと。

P241

防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。

P280B

保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

P273

環境への放出を避けること。

応急措置

P303 + P361 + P353A

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。

P370 + P378G

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P235

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

P501

内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	60 - 80
石油系溶剤	64742-14-9	6.0

ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	540-97-6	1 - 5
酸化アルミニウム	1344-28-1	1 - 5
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	1 - 5
焼成カオリン	92704-41-1	1 - 5
ポリ (ジメチルシロキサン)	63148-62-9	1 - 5
イソプロピルアルコール	67-63-0	4.8
水素化軽質石油留分 1	64742-47-8	4.0
水素化軽質石油留分 2	64742-47-8	1.5
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	1.1
トリエタノールアミン	102-71-6	0.42

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

炭化水素類

条件

燃焼中

ホルムアルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素
窒素酸化物

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。 漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。 漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。 禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。 輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管

換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
トリエタノールアミン	102-71-6	ACGIH	TWA : 5mg/m ³	
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA (総粉じんとして) (8時間) : 2 mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じんとして) (8時間) : 0.5 mg/m ³	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m ³	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
不活性あるいは有害なダスト	1344-28-1	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m ³	100%と仮定して計算
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入粒子) : 10 mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入性粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入性粒子) : 3 mg/m ³	
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	AIHA	TWA : 10 ppm	
ケロシン (石油)	64742-47-8	ACGIH	TWA (トータル炭化水素蒸気、非エアロゾルとして) : 200 mg/m ³	A3 : 確認された動物発がん性因子、経皮吸収性
イソプロピルアルコール	67-63-0	ACGIH	TWA : 200ppm、STEL : 400ppm	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
イソプロピルアルコール	67-63-0	ISHL	TLV (8時間) : 200 ppm	
イソプロピルアルコール	67-63-0	JSOH OELs	CEIL : 980 mg/m ³ (400 ppm)	
鉍物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 5 mg/m ³	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL (濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

化学防護手袋は不要。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	白色
臭い	わずかな溶剤臭
臭いの閾値	データはない。
pH	8
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	43.9 - 45 °C [試験方法：クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	適用しない
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	2,399.8 Pa [試験条件： 20 °C]
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1 - 1 kg/l
比重	0.98 - 1 [参照基準：水=1]
溶解度	データはない。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	12,000 - 18,000 mPa-s [試験方法：Brookfield]
揮発性有機化合物	15.8 重量% [試験方法：カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出]

揮発性有機化合物	164 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発分	81.7 重量% [試験方法：推定値]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	462 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	適用しない

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

火花ないし炎

熱。

光。

混触危険物質

強酸化性物質

強酸

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション 5 の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション 3 に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
イソプロピルアルコール	皮膚	ウサギ	LD50 12,870 mg/kg
イソプロピルアルコール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 72.6 mg/l
イソプロピルアルコール	経口摂取	ラット	LD50 4,710 mg/kg
石油系溶剤	吸入－蒸気	専門家による判断	LC50 推定値 20 - 50 mg/l
石油系溶剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
石油系溶剤	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化軽質石油留分 1	吸入－蒸気	専門家による判断	LC50 推定値 20 - 50 mg/l
水素化軽質石油留分 1	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 3 mg/l
水素化軽質石油留分 1	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化軽質石油留分 1	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
デカメチルシクロペンタシロキサン	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,000 mg/kg
デカメチルシクロペンタシロキサン	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 8.7 mg/l
デカメチルシクロペンタシロキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 24,134 mg/kg
ポリ (ジメチルシロキサン)	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,400 mg/kg
ポリ (ジメチルシロキサン)	経口摂取	ラット	LD50 > 17,000 mg/kg
焼成カオリン	皮膚	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg

焼成カオリン	経口摂取	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 50,000 mg/kg
水素化軽質石油留分 2	吸入－蒸気	専門家による判断	LC50 推定値 20 - 50 mg/l
水素化軽質石油留分 2	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化軽質石油留分 2	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
トリエタノールアミン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
トリエタノールアミン	経口摂取	ラット	LD50 9,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	多種類の動物種	刺激性なし
石油系溶剤	ウサギ	わずかな刺激
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
水素化軽質石油留分 1	ウサギ	軽度の刺激
デカメチルシクロペンタシロキサン	ウサギ	刺激性なし
焼成カオリン	ウサギ	刺激性なし
ポリ (ジメチルシロキサン)	ウサギ	刺激性なし
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	ウサギ	刺激性なし
水素化軽質石油留分 2	ウサギ	軽度の刺激
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	刺激性なし
トリエタノールアミン	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	ウサギ	激しい刺激
石油系溶剤	ウサギ	軽度の刺激
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
水素化軽質石油留分 1	ウサギ	軽度の刺激
デカメチルシクロペンタシロキサン	ウサギ	刺激性なし
焼成カオリン	ウサギ	刺激性なし
ポリ (ジメチルシロキサン)	ウサギ	刺激性なし
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	ウサギ	刺激性なし
水素化軽質石油留分 2	ウサギ	軽度の刺激
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	軽度の刺激
トリエタノールアミン	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	モルモット	区分に該当しない。
石油系溶剤	モルモット	区分に該当しない。
水素化軽質石油留分 1	モルモット	区分に該当しない。

	ト	
デカメチルシクロペンタシロキサン	マウス	区分に該当しない。
水素化軽質石油留分 2	モルモット	区分に該当しない。
ホワイトミネラルオイル (石油)	モルモット	区分に該当しない。
トリエタノールアミン	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	In vitro	変異原性なし
イソプロピルアルコール	In vivo	変異原性なし
石油系溶剤	In vitro	変異原性なし
石油系溶剤	In vivo	変異原性なし
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
水素化軽質石油留分 1	In vitro	変異原性なし
デカメチルシクロペンタシロキサン	In vitro	変異原性なし
デカメチルシクロペンタシロキサン	In vivo	変異原性なし
水素化軽質石油留分 2	In vitro	変異原性なし
水素化軽質石油留分 2	In vivo	変異原性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	In vitro	変異原性なし
トリエタノールアミン	In vitro	変異原性なし
トリエタノールアミン	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油系溶剤	特段の規定はない。	非該当	発がん性なし
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
水素化軽質石油留分 1	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
デカメチルシクロペンタシロキサン	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
水素化軽質石油留分 2	特段の規定はない。	非該当	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
トリエタノールアミン	皮膚	多種類の動物種	発がん性なし
トリエタノールアミン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 世代
イソプロピルアルコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2 世代
イソプロピルアルコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	器官発生期
イソプロピルアルコール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 9 mg/l	妊娠期間中
石油系溶剤	特段の規定はない。	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	1 世代
石油系溶剤	特段の規定はない。	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	1 世代
石油系溶剤	特段の規定はない。	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	1 世代
デカメチルシクロペンタシロキサン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.43 mg/l	2 世代
デカメチルシクロペンタシロキサン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.43 mg/l	2 世代
デカメチルシクロペンタシロキサン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.43 mg/l	2 世代
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
水素化軽質石油留分 2	特段の規定はない。	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	1 世代
水素化軽質石油留分 2	特段の規定はない。	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	1 世代
水素化軽質石油留分 2	特段の規定はない。	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	1 世代
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	妊娠期間中
トリエタノールアミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,125 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
イソプロピルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
イソプロピルアルコール	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 13.4 mg/l	24 時間
イソプロピルアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし

					当	乱用時
水素化軽質石油留分 1	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
水素化軽質石油留分 1	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
水素化軽質石油留分 1	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 適用しない。	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12.3 mg/l	24 月
イソプロピルアルコール	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12 mg/l	13 週
イソプロピルアルコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/day	12 週
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
デカメチルシクロペンタシロキサン	皮膚	造血器系 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg/day	28 日
デカメチルシクロペンタシロキサン	吸入した場合	造血器系 呼吸器系 肝臓 眼 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.42 mg/l	2 年
デカメチルシクロペンタシロキサン	経口摂取	肝臓 免疫システム 呼吸器系 心臓 造血器系 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
焼成カオリン	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	経口摂取	内分泌系 肝臓 呼吸器系 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	肝臓 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日
トリエタノールアミン	皮膚	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2 年
トリエタノールアミン	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 4,000 mg/kg/day	13 週
トリエタノールアミン	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
トリエタノールアミン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 1,600 mg/kg/day	24 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
石油系溶剤	誤えん有害性
水素化軽質石油留分 1	誤えん有害性
水素化軽質石油留分 2	誤えん有害性
ホワイトミネラルオイル (石油)	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡く

ださい。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム	1344-28-1	該当なし	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	液状化	実験	3 時間	EC50	>2,000 mg/l
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	>100 mg/l
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	100 mg/l
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	ニジマス	実験	90 日	NOEC	100 mg/l
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l

ロキサン						
ドデカメチル シクロヘキサ シロキサン	540-97-6	液状化	実験	3 時間	EC50	>100 mg/l
ドデカメチル シクロヘキサ シロキサン	540-97-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
ドデカメチル シクロヘキサ シロキサン	540-97-6	ファットヘッ ドミノウ (魚)	実験	49 日	NOEC	100 mg/l
ドデカメチル シクロヘキサ シロキサン	540-97-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
ドデカメチル シクロヘキサ シロキサン	540-97-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
焼成カオリン	92704-41-1	バクテリア	推定値	16 時間	EC10	1,400 mg/l
焼成カオリン	92704-41-1	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリ (ジメチ ルシロキサ ン)	63148-62-9	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
石油系溶剤	64742-14-9	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	>1,000 mg/l
石油系溶剤	64742-14-9	ニジマス	推定値	96 時間	LL50	>1,000 mg/l
石油系溶剤	64742-14-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	>1,000 mg/l
石油系溶剤	64742-14-9	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	>1,000 mg/l
水素化軽質石 油留分 1	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	1 mg/l
水素化軽質石 油留分 1	64742-47-8	ニジマス	推定値	96 時間	LL50	2 mg/l
水素化軽質石 油留分 1	64742-47-8	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	1.4 mg/l
水素化軽質石 油留分 1	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	1 mg/l
水素化軽質石 油留分 1	64742-47-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	0.48 mg/l
水素化軽質石 油留分 2	64742-47-8	緑藻類	実験	72 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化軽質石 油留分 2	64742-47-8	ニジマス	実験	96 時間	LL50	>1,000 mg/l
水素化軽質石 油留分 2	64742-47-8	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化軽質石	64742-47-8	緑藻類	実験	72 時間	NOEL	1,000 mg/l

油留分 2						
イソプロピルアルコール	67-63-0	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,050 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	無脊椎動物	実験	24 時間	LC50	>10,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	液状化	実験	3 時間	IC50	>1,000 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	11,800 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	512 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	609.98 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	26 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	16 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EL50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEL	100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
デカメチルシクロペンタシ	541-02-6	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0.14 CO ₂ 発生量/理論CO ₂ 発生量	OECD 310 CO ₂ Headspace

ロキサン					生量%	
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	20.4 日 (t 1/2)	
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	66 日 (t 1/2)	
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	540-97-6	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	4.47 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 310 CO2 Headspace
焼成カオリン	92704-41-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリ (ジメチルシロキサン)	63148-62-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石油系溶剤	64742-14-9	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	69 %BOD/ThOD	OECD 301F
水素化軽質石油留分 1	64742-47-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化軽質石油留分 2	64742-47-8	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	69 %BOD/ThOD	OECD 301F
イソプロピルアルコール	67-63-0	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	86 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
トリエタノールアミン	102-71-6	実験 生分解性	19 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	96 DOC除去%	OECD 301E類似法
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	実験 BCF - 魚	35 日	生物濃縮係数	7060	OECD305-生体濃縮度試験
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	8.03	
ドデカメチルシクロヘキサシロキサン	540-97-6	実験 BCF - 魚	49 日	生物濃縮係数	1160	OECD305-生体濃縮度試験
焼成カオリン	92704-41-1	分類にデータが利用でき	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		ない、あるいは不足している。				
ポリ（ジメチルシロキサン）	63148-62-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石油系溶剤	64742-14-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化軽質石油留分 1	64742-47-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化軽質石油留分 2	64742-47-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
イソプロピルアルコール	67-63-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.05	
トリエタノールアミン	102-71-6	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<3.9	OECD 305類似法
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1 8 6 6 樹脂液

輸送分類（IM0）：3 引火性液体

輸送分類（IATA）：3 引火性液体

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

- 労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の3）
- 労働安全衛生法：施行令 18 条の2 名称等を通知すべき有害物
- 労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）
- 労働安全衛生法：施行令別表第6の2 有機溶剤
- 消防法：第四類第二石油類
- 船舶安全法、航空法：引火性液体類

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
石油系溶剤	石油ナフサ	該当	該当
水素化軽質石油留分 1	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当
水素化軽質石油留分 2	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当
イソプロピルアルコール	イソプロピルアルコール	該当	該当
イソプロピルアルコール	プロピルアルコール	該当	該当
トリエタノールアミン	トリエタノールアミン	該当	該当
ホワイトミネラルオイル（石油）	鉱油	該当	該当

16. その他の情報

- 改訂情報
- セクション1：製品用途 情報の追加.
 - セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
 - セクション3：成分表 情報修正.
 - セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.

セクション 5 : 火災時情報 (消火剤) 情報修正.
セクション 8 : mg/m³ 記号 情報の追加.
セクション 8 : 作業環境許容値 情報修正.
セクション 8 : OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション 8 : ppm 記号 情報の追加.
セクション 8 : 呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
セクション 9 : 追加性状に関する記載 情報の追加.
セクション 10 : 燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 吸引毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 発がん性の表 情報修正.
セクション 11 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 15 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション 15 : 法規名 - 表 情報の削除.
セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項 : この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。